

CASE 2 兩兒学舎 (ふたごがくしゃ)

生涯学習の場に - 旧くて新しいコミュニティづくり -



DATA
 まちづくり支援部がサポートしたこと：**活動計画** **資金計画** **改修計画**

運営主体：那須 啓文
 住所：岡山県倉敷市二子 1322 番地



ABOUT 兩兒学舎

倉敷市の北東部の庄地区に位置する兩兒学舎。周辺には保育園、幼稚園、小、中、高等学校、大学と各年代の教育機関がそろっている。この地区は昔から住んでいる人たちと、新興住宅地に越してきた新しい世帯が混在している。新旧の住民が住んでいるこの場所で教育機関とも積極的に連携を図りながら多世代交流と新旧住民交流を具現化できるプログラムを提案していくことを目的としている。兩兒学舎はこれから本格的に改修工事を始めイベントを実施していく。

きつかけ

- なんとか建物を残したい

那須さんのお母さんの生まれた家である兩兒学舎。老朽化が激しく、地域の人たちからも危険であると言われ取り壊す予定でお祓いまで済ませていたそう。しかし、どうか家を残してほしいというお母さんの想いと、良い立地に建っているこの建物を何とか残せないかという本人の想いから取り壊すのを取りやめ、活用しようと決意した。

調査

- ポテンシャルを活かして

この家を改修、活用するにあたってどのような作業、改修が必要か、まず調査を行った。雨漏りをしていた部分には応急手当としてブルーシートをかぶせた。ドローンを飛ばして上空から屋根の様子を撮影したり、老朽化の調査に加えて専門家（宮大工等）の方と一緒に建物の価値を調べたりして、改修計画を立てていった。

仲間集め

- 生涯学習の場に

もともと他の場所で体験学習プログラムなどを企画している那須さん。自身が美術教師であったことから造形作家の方ともつながりがあるそう。そこで、これまで一緒に活動してきた人たちに声をかけ、兩兒学舎が整備された後は、その仲間の方たちと様々な活動をしていくことができると考えている。

資金計画

- 将来の活動を見据えて

資金的にも一気に改修工事を行うことは難しいので、段階的に改修する計画で補助金申請を行いながら、改修を進めることに。資金計画を立てた結果、事前準備として老朽化が激しい増築部分の解体、第1期工事として母屋の屋根の修繕をし、第2期工事では建物を活用しながら内装工事をしていくという方針が決まった。

これから

- ワークショップ形式での改修

兩兒学舎の改修はこれから本格的に行われる。改修工事の中で壁塗り、床張り、玉石敷きなど、一般の人が参加可能なものについては専門スタッフを交えてワークショップ形式で実施していく計画である。ワークショップとして改修していくことで、地域の人たちにとってこの場所がより身近な自分たちの場所として認識してもらえることを望んでいる



サポートします！

- ドローン撮影による調査
屋根の状況を調べるためドローンを飛ばして撮影
- 建物の価値の調査
専門家の紹介、立ち合い



サポートします！

- 補助金の紹介
改修に関する補助金
活動に関する補助金 の紹介
- 専門家とつなぐ
申請に関する専門家の紹介

サポートします！

- 改修の計画づくり
資金や建物の状態に合わせて段階的な改修の計画を立てる
- ワークショップ支援
ワークショップ型の工事のお手伝い